

# カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学  
大歓迎!

TEL 03  
(5950)  
1771

## 「建築の基礎が学べる就職先」をアピールできる

### 採用と定着に東京建築カレッジを利用しましょう

#### 東京建築カレッジ 無料職業紹介所

新規登録事業所を大募集！問い合わせはお気軽に

「求人を出しても反応がない」「入ってもすぐやめてしまう」「人材の質も低い」とお悩みの中、小建築事業所の皆さんに、東京建築カレッジ（以下、カレッジ）の利用をお勧めします。東京建築カレッジ無料職業紹介所の登録事業所になれば、「ウチに入社すれば2年間、学校に通学でき、建築の基礎がしっかり学べる」ことを採用活動でアピールできます。一方、カレッジ入学応募者で就職あっせんを希望する方との出会いのチャンスもあります。

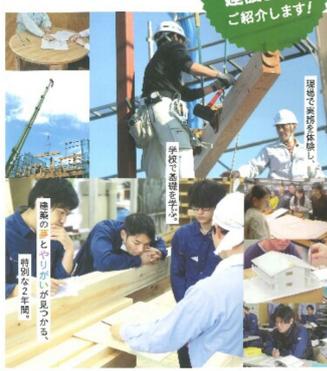
賃金や休日の少なさ、ハラスメントの横行、不安定な雇用などから、せっかく建築業界に就職しても早期に離職してしまう若者は少なくありません。工業高校建築科の教員からも「労働環境がダメな職場に教え子は紹介できない」と言われてきました。カレッジは建設業での就労を入学の条件とし、所属事業所での現場実習（OJT）を授業科目に取り入れているので、研修生の労働環境について無関心ではられません。

そこで、カレッジでは入学希望者に紹介する事業所を、労働基準法や最低賃金法など法令を守り、カレッジ学費の全額会社負担を誓約するカレッジ無料職業紹介所登録事業所に限定しました。カレッジ入学と安心して働ける就職先を紹介がセツトになったことで、新たに新

### 共同求人パンフレット

### 高校生や学生層に配布

東京建築カレッジに入学して、学びながら安心して働ける



東京建築カレッジ

昨年、高校などに配布した求人パンフ

### 登録するには

登録事業所になるには東京建築カレッジの教育実践に賛同すると共に、労基法など法令順守の経営、学費の全額会社負担など条件があります。詳しくはお問い合わせください。

## 他産業や大手企業との若年人材 争奪戦に本気でたたかおう

規学卒者や転職者を対象に入学生募集を大胆に行えるようになりました。登録事業所は、カレッジからの紹介を待つだけでなく、新人教育制度の充実した会社を訴求することで、採用活動を有利に進めることができます。

### 第26期生募集・高校新卒3人の採用に成功した事業所も

本校は「（建築現場で）働きながら学ぶ」仕組みのため建築関連事業所に就職できなければ入学はできません。就職あっせんを希望する方にはカレッジ無料職業紹介所の登録事業所を紹介しています。第26期生（2021年4月入学生）では、入学希望者のうち12人から求職があり、10人の方の就職先を決めることができました。中には高校新卒3人の同時採用に成功した事業所もあります。



東京建築カレッジには意欲あふれる若者が毎年、入学応募します。登録事業所はこの若者たちにアプローチすることができます。事務局では、ハローワークへの求人申込書の出し方、高卒求人のルールの説明、共同求人パンフレットの作成・配布や合同企業面接会の開催（左写真）などのサポートを行っています。採用活動に不慣れな事業所も安心です。



学校公式  
サイトへの  
アクセス

入学案内・募集要項は  
こちら！  
お問い合わせは  
お気軽に！

# 建築の専門家としての感受性を磨く授業も

2年生から  
第24期生  
（2年生）  
は卒業（修了）まで

と1ヶ月。修了試験の位置付けの「技能照査試験」は実技も学科も終わり、残された大きな課題は卒業制作だけとなりました。



第24期生（2年生）技能照査・実技試験『化粧樑隅木』完成作品（池袋校舎）

大きな課題と並行し、ユニークな授業がたくさんあるのがカレッジ教育です。2月26日には、長野智雄講師（4期生、一級建築士）による「デザイン ポキヤブラリー（Design Vocabulary）」という授業が計画系の科



目の中で行われまし  
た。

これは、自分が見つけた変な建物、おかしい建物、参考にしたい（参考にしたいくない）建物を各自が発表する（＝写真）。この授業にも狙いがあります。考案者、長野講師はこ

う説明します。「街の中には、建築物があふれています。それら建築物を普段から眺める癖をつけてほしい。そこには、必ず疑問に思うものや参考にできないもの（逆に参考にしたいもの）などがある。見つけられるはず。その蓄積が、将来的に自分の仕事の幅を広げることにつながると思うし、僕自身がそれを行っ

ていて実感している。「これが身に付いてくると、仕事の中で分からないことがあった場合で、すぐに人が聞けない状況でも、周りの建物を見渡したり、少し街に出たりして、その答えを探せるようになる。形状や状況、状態などから見て、なぜそうなのかなのかを考える。なぜそうなったのか？仮に正解がわからなく

ても、自分なりに説明ができれば、それは次の自分の仕事のやり方に応用することが出来る」。「建築がさらに面白くなる。観光スポットにわざわざ行かなくても、近場の行ったことのない街をフラフラするだけで楽しい」。仲間の発表にも刺激を受けながら建築の専門家らしい感受性を磨いていきます。

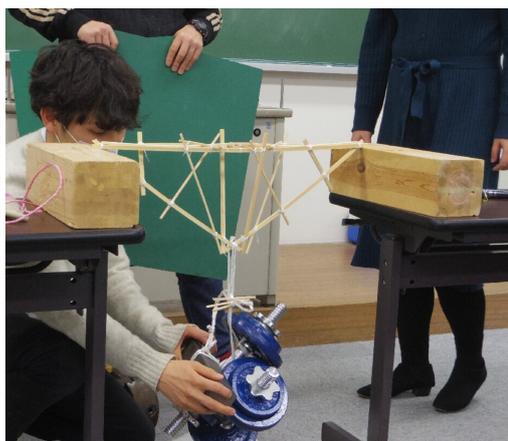
## 「力が見える人を育てる」構造力学実験

1年生から  
授業から

建物の形や、その構造は、そこにはたらく力によって

決まってくるものです。安全な建物をつくる上で「構造力学」を学ぶことは欠かせません。各種の資格試験でも理解度が問われます。しかし、数式の丸暗記だけでは力の性格を理解しにくいのも事実。カレッジでは色々工夫して教えています。

4ミリ角のヒノキの棒を糸で接合しトラス模型を作ります。耐荷性能を競いながら力の法則を学ぶ。



工作用紙で三角柱や多角柱、円柱を作り、上部から力を加えていきます。意外な結果にみんなビックリ。



第26期生（今年4月入学生）は  
24人の入学予定です

「苦手な人が少なくない構造力学です。できるだけ実物や図形を使って『見えない力が見える人になってほしい』という願いを持って、工夫して授業を行っています」（担当の松田紘講師）

